

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	解剖学 3	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	東洋療法学校協会編 解剖学 医歯薬出版				
担当教員情報					
担当教員	大迫正文	実務経験の有無・職種	有・歯学博士		
学習目的					
臨床活動を行う際に必要な知識である、「人体の構造」について詳細に学ぶ。疾病を理解するうえで、正常な構造を知ることが重要な基礎知識である。また、他の医療関係者との共通言語として用語を理解し身に付けることが目的である。					
到達目標					
鍼灸の学習を進めるうえで必要な解剖学的知識を修得する。医療の基礎となる用語を理解し身に付けることが必要となる。そのうえで人体の各部の構造的特徴を学び人体に対しての理解を深める。人体の外見から推測できる構造から始まり、体内臓器の理解へと進み、体内の構造を立体的に把握し体全体の深い理解につなげる。					
教育方法等					
授業概要	まず最初に解剖学 2 の脈管学の続きとして、静脈系、リンパ系組織および胎児循環を学び、それに続いて神経系の形態ならびに機能的な特徴について学習することを目的とする。脈管と神経という身体の諸機能を支持、制御する構造の理解を通して解剖学の基礎を学ぶ。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	70%	期末試験（筆記試験）		
	小テスト	30%	授業中に復習のための小テスト実施する		
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
平常点	0%				
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	脈管学（上大静脈、奇静脈）	上大静脈に注ぐ静脈と奇静脈について理解する			
2回	脈管学（下大静脈）、胎児循環	下大静脈に注ぐ静脈と、門脈、胎児循環について理解する			
3回	脾臓、リンパ性器官	脾臓、リンパ節・管、胸管、胸腺を理解する			
4回	神経系の基礎	神経細胞と神経突起の構造や分類を理解する			
5回	中枢神経（髄膜、脳室系、大脳）	中枢神経の成り立ちと大脳皮質・髄質を理解する（下肢帯の骨）			
6回	中枢神経（間脳、脳幹）	間脳、中脳、橋、延髄を理解する			
7回	中枢神経（小脳、脊髄）	小脳と脊髄を理解する			
8回	伝導路（反射路、救心性伝導路）	反射路、体性感覚路、視覚路、聴覚路、味覚路を理解する			
9回	伝導路（遠心性伝導路）	錐体路、錐体外路を理解する			
10回	末梢神経（脳神経－1）	嗅神経、視神経、動眼神経、滑車神経、三叉神経、外転神経の走行と作用を理解する			
11回	末梢神経（脳神経－2）	顔面神経、内耳神経、舌咽神経、迷走神経、副神経、舌下神経の走行と作用を理解する			
12回	末梢神経（頸神経叢、腕神経叢）	頸神経総と腕神経叢の枝の走行と支配領域を理解する			
13回	末梢神経（肋間神経、腰神経叢）	肋間神経と腰神経叢の枝の走行と支配領域を理解する			
14回	末梢神経（仙骨神経叢）	仙骨神経叢の枝を支配領域を理解する			
15回	総合授業	前期に学んだ情報を確認し、全身の静脈系、リンパ系および神経系を理解する			